

平成26年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ティムコ
 コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 酒井 誠一
 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第2四半期の業績(平成25年12月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第2四半期	1,509	5.6	14	—	18	—	5	—
25年11月期第2四半期	1,429	△0.9	△17	—	△13	—	△18	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第2四半期	1.84	—
25年11月期第2四半期	△6.39	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年11月期第2四半期	7,664	6,618	86.3	2,347.58
25年11月期	7,580	6,650	87.7	2,358.41

(参考)自己資本 26年11月期第2四半期 6,618百万円 25年11月期 6,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年11月期	—	0.00	—	—	—
26年11月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,890	1.2	42	—	43	—	28	—	9.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年11月期2Q	3,339,995 株	25年11月期	3,339,995 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

26年11月期2Q	520,756 株	25年11月期	520,166 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年11月期2Q	2,819,632 株	25年11月期2Q	2,819,879 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（自平成25年12月1日至平成26年5月31日）における日本経済は、政府による金融、経済対策を背景に円安、株高基調で推移し、輸出を中心とした大手企業の業績の改善が見られました。また、個人消費については、一部に4月から実施された消費税率引き上げに伴う駆け込み需要がありましたが、増税後の4月以降はその反動による内需減少も見られました。

一方、当社の関連するアウトドア関連産業では、個人消費の持ち直しの動きが期待されたものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の増加の動きも期待したほど見られず、全般に厳しい市場環境となりました。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく積極的に営業活動を行ってまいりました。その結果、当第2四半期の売上高は15億9百万円（前年同期比5.6%増）となりました。また、営業利益は14百万円（前年同期間 営業損失17百万円）、経常利益は18百万円（前年同期間 経常損失13百万円）となりました。なお、税効果会計による法人税等調整額の影響を受け、四半期純利益は5百万円（前年同期間 四半期純損失18百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、年初の寒波による各地の記録的な降雪量が釣行に影響を及ぼし、釣具店を中心に店頭販売が苦戦いたしました。こうした厳しい市況が4月以降も続く中、当社では、ルアー用品、フライ用品ともに、新製品を早期に投入したものの販売は伸び悩み、フィッシング事業の売上高は5億66百万円（前年同期比1.0%減）となりました。また、円安進行による輸入コスト上昇や一部在庫品の値下げ販売の影響を受け、セグメント利益（営業利益）は87百万円（前年同期比7.8%減）となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、強い寒気により気温が低く推移し、防寒、防水性などの機能を特長とする衣料やアクセサリに安定した動きがみられたほか、販売先の拡大に努めた結果、アウトドア事業の売上高は9億34百万円（前年同期比10.1%増）となりました。また、セグメント利益（営業利益）は44百万円（前年同期比139.8%増）となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第2四半期累計期間に関しては、その他売上高は8百万円（前年同期比10.4%増）となりました。また、セグメント利益（営業利益）は4百万円（前年同期比20.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ84百万円増加し76億64百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少1億63百万円や有価証券の満期償還による減少1億円のうち、季節的な要因による商品及び製品の増加2億17百万円や売上の増大による受取手形及び売掛金の増加64百万円などの影響により、前事業年度末に比べ16百万円増加し、43億70百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券の取得1億円のうち、直営店舗の閉店に伴う敷金及び保証金の減少19百万円や建物等の減価償却の実施などにより、前事業年度末に比べ67百万円増加し、32億94百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億16百万円増加し10億46百万円となりました。

流動負債は、仕入が集中する季節的な要因により、支払手形及び買掛金が1億13百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ1億9百万円増加し、8億19百万円となりました。

固定負債は、長期リース債務が14百万円増加した一方、退職給付引当金が8百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ6百万円増加し2億26百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ31百万円減少し、66億18百万円となりました。これは主に、四半期純利益5百万円の発生的一方、前事業年度決算の配当支出33百万円などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1億62百万円減少し、3億13百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、1億24百万円(前年同四半期の使用した資金は77百万円)となりました。これは主に、仕入債務の増加1億16百万円、減価償却費40百万円、税引前四半期純利益18百万円などによる資金の増加の一方、たな卸資産の増加2億19百万円、売上債権の増加62百万円などによる資金の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1百万円(前年同四半期の使用した資金は27百万円)となりました。これは主に、有価証券の取得と償還による差額収入1億円、敷金及び保証金の回収による収入19百万円などによる資金の増加の一方、投資有価証券の取得による支出1億円、有形固定資産の取得による支出16百万円などによる資金の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、36百万円(前年同四半期の使用した資金は51百万円)となりました。これは主に、前事業年度決算に係る配当金による支出33百万円とリース債務の返済による支出2百万円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年1月17日発表の「平成25年11月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成26年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,386,831	1,222,958
受取手形及び売掛金	586,368	650,650
有価証券	1,214,244	1,114,179
商品及び製品	1,094,689	1,311,796
その他	73,288	72,670
貸倒引当金	△1,759	△1,952
流動資産合計	4,353,663	4,370,303
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	751,251	726,490
土地	2,011,097	2,011,097
その他（純額）	19,331	36,736
有形固定資産合計	2,781,680	2,774,325
無形固定資産	20,353	24,693
投資その他の資産		
その他	426,544	495,437
貸倒引当金	△1,618	—
投資その他の資産合計	424,926	495,437
固定資産合計	3,226,961	3,294,455
資産合計	7,580,624	7,664,759
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	552,446	666,055
未払法人税等	20,376	13,003
返品調整引当金	19,510	15,794
その他	118,240	125,133
流動負債合計	710,574	819,986
固定負債		
退職給付引当金	136,105	127,897
その他	83,643	98,487
固定負債合計	219,749	226,384
負債合計	930,324	1,046,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	1,989,602	1,960,940
自己株式	△290,253	△290,582
株主資本合計	6,640,796	6,611,804
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,504	6,583
評価・換算差額等合計	9,504	6,583
純資産合計	6,650,300	6,618,387
負債純資産合計	7,580,624	7,664,759

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
売上高	1,429,114	1,509,635
売上原価	767,531	825,721
売上総利益	661,583	683,913
返品調整引当金戻入額	19,523	19,510
返品調整引当金繰入額	14,184	15,794
差引売上総利益	666,922	687,629
販売費及び一般管理費	684,058	673,527
営業利益又は営業損失(△)	△17,135	14,102
営業外収益		
受取利息	2,308	1,548
受取配当金	263	492
為替差益	278	2,370
その他	496	737
営業外収益合計	3,347	5,148
営業外費用		
支払利息	62	—
その他	10	271
営業外費用合計	72	271
経常利益又は経常損失(△)	△13,860	18,979
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	788	—
固定資産除却損	—	18
特別損失合計	788	18
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△14,649	18,960
法人税、住民税及び事業税	7,020	6,772
法人税等調整額	△3,657	7,012
法人税等合計	3,362	13,785
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,012	5,175

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△14,649	18,960
減価償却費	47,369	40,995
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	203	△1,425
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△5,338	△3,715
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	788	△233
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,162	△8,208
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△57,459	—
受取利息及び受取配当金	△2,572	△2,040
支払利息	62	—
為替差損益 (△は益)	△1,664	△261
固定資産除却損	—	18
売上債権の増減額 (△は増加)	△67,666	△62,663
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△198,826	△219,248
仕入債務の増減額 (△は減少)	179,335	116,373
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△7,600	6,788
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	2,225	1,392
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△3,837	△265
その他	59,835	291
小計	△67,633	△113,241
利息及び配当金の受取額	2,345	2,133
利息の支払額	△62	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△12,476	△13,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	△77,827	△124,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△954,200	△954,200
定期預金の払戻による収入	956,000	956,000
有価証券の取得による支出	△300,000	△300,000
有価証券の償還による収入	300,000	400,000
有形固定資産の取得による支出	△20,857	△16,415
無形固定資産の取得による支出	△5,565	△1,464
投資有価証券の取得による支出	—	△100,000
資産除去債務の履行による支出	—	△4,877
敷金の差入による支出	△3,181	—
敷金及び保証金の回収による収入	82	19,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,721	△1,011
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△8,796	△2,434
自己株式の取得による支出	△42	△329
配当金の支払額	△42,182	△33,745
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,022	△36,509
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,664	261
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△154,907	△162,028
現金及び現金同等物の期首残高	570,149	475,843
現金及び現金同等物の四半期末残高	415,242	313,814

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	572,560	849,241	1,421,801	7,313	—	1,429,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	572,560	849,241	1,421,801	7,313	—	1,429,114
セグメント利益又は損失(△)	95,131	18,416	113,547	3,982	△134,666	△17,135

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△134,666千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第2四半期累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	566,589	934,975	1,501,565	8,070	—	1,509,635
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	566,589	934,975	1,501,565	8,070	—	1,509,635
セグメント利益	87,741	44,162	131,904	4,807	△122,609	14,102

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△122,609千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。